



くしもと 議会だより

2016年3月

Vol. **23**

世界遺産候補 富山平見の石畳道

12月議会の概要 P2~P3

一般質問 P4~P14

捕鯨文化を日本遺産に P15

行政視察報告 P16~P17

議会の動き・編集後記 P18

議案第104号 平成26年度 串本町一般会計歳入歳出決算認定について

決算審査特別委員長報告の一般会計歳入歳出決算は不認定に対する討論について

主な討論内容

仲江議員【賛成】
 磯根再生事業に関して、委託契約と実際の事業報告が異なっている事は明らかだ。事の本質は、運動団体からの要望にこたえて、運動団体の為につけている予算であり磯根の再生が目的となっていない。

水口議員【反対】
 リュウケミカルの件で、町民から預かった大事な財産であり、不認定としましたが、町長からの説明、謝罪、この事業に対しては、地元貢献は大変大きかった。教訓にいただきたい。磯根事業も成果については疑問な点もあるが、地元産業を続けていきたい、生活の糧にされている方もたくさんおられる、当局も成果のあるように見直していただきたいが認定します。

【賛成者】 仲江・濱田
【反対者】 漆畑・鈴木・佐藤・長脊・梅野・水口・結城・橋爪・川勝・沼谷・芝山
 ◎結果、平成26年度串本町一般会計歳入歳出決算は採決により認定されました。

議案第133号 串本町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

主な討論内容

仲江議員【反対】
 国が決めた制度を町が実施する為に当然必要な条例だという事だと思うが、このマイナンバー制度というのは今の時点でも凍結・中止することこそが私は住民の利益だと考えます。

【賛成者】 漆畑・濱田・鈴木・佐藤・長脊・梅野・水口・橋爪・川勝・沼谷・芝山
【反対者】 仲江・結城
 ◎結果、議案第133号は原案のとおり可決されました。

議案第135号 串本町国民健康保険税条例の一部改正について

主な討論内容

仲江議員【反対】
 昨年の値上げは上げ過ぎたと判断しています、少しでも住民の負担を抑えようという立場からの財政運営、予算執行がされていないという判断をせざるを得ない。

鈴木議員【賛成】
 国保税は国民健康保険制度を支える根幹の制度と認識している。町の均衡、調和のとれた振興方策、社会保障の政策を考えた場合、適正な予算が伴わなければならない、改正は将来、保険者の県への移行を予想する中での県平均に近づける改正であると理解する。

結城議員【反対】
 今回の改正は去年の値上げについて住民の反応も十分調べて、串本町の健康保険制度についてどうしていくか、もう少し積み上げて、その上でこの問題を議論すべきと思う。

濱田議員【賛成】
 国保自体が全町民が入っているわけではない、その家庭に一般会計から補てんをするというのは、おかしな話であると思う。

漆畑議員【反対】
 串本町の国民年金の平均が4万円だといわれている、生活保護に陥らずに頑張っている家庭には、ある程度の一般会計からの繰入も政治的な役割であると思う。

沼谷議員【賛成】
 住民の方も入っている国保運営協議会で、住民の方も値上げに賛成と承認された。

水口議員【反対】
 住民福祉の一番根源であるので、串本町の現状を見た中で据え置くべきだ。

【賛成者】 濱田・鈴木・佐藤・長脊・梅野・橋爪・沼谷・芝山
【反対者】 漆畑・仲江・水口・結城・川勝
 ◎結果、議案第135号は原案のとおり可決されました。

12月 定例会

概要



12月定例会は12月9日（水）から18日（金）までの日程で開催されました。上程された案件は、人事案件1件、条例案件18件、補正予算案件7件、その他の案件2件の審議が行われました。追加議案として、意見書の提出がありました。

諸報告の主なもの

- 職員採用について、医療職を除く職種ごとの定年退職者、勤奨退職者を勘案した採用計画により一般事務職、消防職、保育士、幼稚園教諭の募集を行った。
- 10月1日より運行を開始したコミュニティバスは、利用者数、利用料とも当初の見込みを大きく上回っている。1年間は試行運転期間とし、再度地域の皆様のご意見を伺い、必要があれば内容の見直しを行う。
- 映画「海難1890」については、全国公開に先駆け、串本町文化センターで7回の上映を行い、小学4年生から中学校生徒を含め3,414人の来場があった、又公開に伴う役場内の体制について、12月1日に「海難1890プロジェクトチーム」を設置し、問い合わせの対応、情報収集、企画立案に当たる。
- 学校給食について、11月末に給食センターが完成し、3学期スタート時は古座地区4校、2月1日からは串本地区の中学校4校、3月1日からは串本地区の小学校6校と3段階に分けて実施されます。

平成27年度串本町一般会計補正予算 第7号

歳入歳出それぞれ2億3,348万9千円を追加し、予算の総額は110億3,084万となる。

主なもの

防災対策経費	131万6千円
障がい者自立支援事業	1,273万8千円
障がい児通所支援事業	1,253万1千円
上野山保育所運営委託料	1,157万9千円
田並ごみ焼却場跡地整備事業	452万円
サンゴ台中央線新設事業	111万円
防災・安全交付金事業	677万7千円
前地町営住宅建替事業	9,612万8千円
学校給食管理経費	3,223万2千円
田並三尾川線災害復旧事業	750万円

【安全・安心の医療・看護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書…労働組合からの請願】
 提出者：仲江孝丸／賛成者：長脊 守／沼谷美次（全員一致で賛成）



漆畑 繁生

計画されている事業を実施した時の財政について

質問 前年の財政計画より悪くなっているがなぜか。

答弁 (企画課長) 各項目にわたり平成27年は平成26年よりふえており、それがベースになり全体に歳出がふえている。

質問 義務的経費の歳出に占める割合が、平成25年度37.5%で財政の硬直化をまねいている。平成34年には約50%になると予想され、扶助費は類似団体のかつらぎ町と比べ2億円高いのはなぜか。

答弁 (企画課長) 一番大きな要因は、精神科病院があ

り、ここにかかわってくる扶助費が大きくなっている。

質問 国の政策により、いいように転ぶ事もあるが、悪いように転ぶ事もあり両方に耐えられる財政にする為に、今ある箱物を使いながら、地震また津波にも耐えられる施設があるのではないか。

答弁 (町長) 財政計画を立てていくにあたり、国自体の財政計画の先が見えない状況であり、国におんぶにだっこしている我々のような市町村に将来が見えるはずはない。できる限り支出を抑えていくというのは議員が言われるとおりだと思っており、無駄な箱物はつくらないようにしたい。

質問 財政計画では、公債費(借金の償還)が平成34年の約15億円余をピークに、平成43年まで14億4千万円で推移し平成34年には12億2千万円

の基金(貯金)があります。が、年間約6億円の貯金の取り崩しが必要であり平成36年で基金がすべて無くなる。町長の言われるように新しいもので高台に行くのはいい事です

が、財政がついていかなければ何なりません。計画されている事業の中で取捨選択し、将来的に若い世代に、健全財政を送っていくのが責務であり、何の選択肢もない財政状況にする事は、大きな罪悪ではないか。

答弁 (町長) 示している財政計画は、すべての課からのすべての事業を上げてあり、マックスという状況で財政計画を立てており無駄な箱物をつくる気は一切ございません。

質問 各議員からの要望がある時、町長は財政計画を見ながらと何回も言いました。全くそのとおりです。何は要る

ものでも財政が破綻するのであれば何もありません。各課からの積み上げた物を財政計画に上げただけであれば、どの事業が省けるのか。

答弁 (町長) 火葬場、庁舎、認定こども園、小学校に關しては必ずやらなければと考えている。

質問 それらの事業を実施すれば財政がもたないのではないか。

答弁 (企画課長) 国・県補助金がどうかというのは予想したい。計画は平成32年度まで、先の事まで聞かれても答えない。

質問 この財政計画では破綻します。町長から何かを削れという話があったので、小学校は大島の小・中学校を、認定こども園は出雲小学校を使つてはどうか。

答弁 (町長) 簡単にいくものではないと私は思う。



瀧田 勝裕

産官学連携について

質問 日南町では鳥取大学と連携して、人事交流で職員を鳥取大学へ出向させ、逆に鳥取大学の職員を日南町役場へ受け入れています。この事をどう思いますか？

答弁 (町長) それぞれの地域にはそれぞれの実情があり、それぞれの事業を展開されているかと思えます。和歌山大学との連携をこれから進めていく、きっかけが出来たところであります。

空き家対策について

質問 日南町では空き家対策特別措置法を受けて、普通は固定資産税の減額がなくなり通常の金額になるのを、廃屋を解体撤去してくれたら10年間固定資産税を減額する条例を制定しています。これをどう思われますか？

答弁 (町長) 基本的には税の問題がありますので今ここでこれいいですね、じゃあ次の予算にあげましようということにはなりにくいと思えます。

病院について

質問 日南病院は31年間黒字会計であり、公立病院は赤字経営だとの概念をもっているが、まさしく目からうろこが落ちました。これをどう思われますか？

答弁 (病院事務長) 公立病院はかなり福祉にも力を入れていかなければならない中で当然その経営は厳しい。31年間黒字ということで財務諸表を見て分析させていただきました。経営収益に対する一般会計からの繰入金比率の高さが黒字の原因であろうかと判断しています。

庁舎について

質問 鳥取県西部地震で以前の庁舎が倒壊または使用不能で建て替えているのが木造2階建てです。ここは森林の町で、地元の木を使い地元での雇用ということをやつてます。高台に庁舎を建てる時に

木造2階建てを考えられないかお伺いします。

答弁 (町長) 本庁舎は50数年経つて大変老朽化してきておりますから一日も早くと考えております。理想とするならば、議員が言われましたように木造2階建てでというのが理想だと思ふんですが、幾ら位かかるかなというのが一番心配なところがあり、我々も紀州材の利用促進に力を入れており、お金の問題との関係で十分検討していきたいと思ひます。

ふるさと納税について

質問 琴浦町はふるさと納税を積極的に取り入れていて、ネットサイトふるさとチョイスに掲載して、平成24年度寄付者53人、430万円が、25年度は3,958件、9,267万円、26年度は11,819件、1億8,206万円です。やってみる価値はあると思いますが、どうですか？

答弁 (町長) 正直今の数字を聞いてびっくりしました。システムに関しては十分検討しなければならぬ部分があると思ひますし寄付金を獲得

しようと努力をしておりますので、考えていきたいと思ひます。

女性登用について

質問 琴浦町では当局12課の内3課で女性課長、議会事務局長、教育委員長も女性でした。わが町も登用してはどうでしょうか？

答弁 (町長) 色々な状況・環境その人の能力、すべて整った状況の中で女性だからなれないというわけでは決してありません。そういった人物がおられたら課長になると思ひます。

グルメストリートについて

質問 琴浦町では近くを高速が通り旧来の国道9号線を通る車が減ったということで、グルメストリートとしてアピールしています。高速が延びるまでにアピールするものを考えないといけないと思ひますがどうでしょうか？

答弁 (町長) 着々と今、高速道路が南進し、その時に通過点にならないように努力をしていかなければならないと思ひます。



仲江 孝丸

磯根漁場再生事業

質問 磯根再生事業に15年間4000万円かけて得られた成果はどうなっているか？19年度から外敵駆除という事でヤツデヒトデの捕獲が始まった。報告は端数のない数になっている。おかしい。

答弁 (産業課長) 量は報告数だけあるのかと言われると100%とは言えない。数の問題ではなしに業務日誌をみると自分たちで減らそうとしている事が大事で、近いものがあるればそれでよい。

答弁 (副町長) 委託事業として実施して地域にとって就労の場となっている。

質問 26年度から海中公園センターに委託するという事になり、契約上はそうなる

いるが、磯根再生事業の報告書は町の職員が作成してる。海中公園センターからの実施の証拠となる報告書がない。

答弁 (産業課長) 作業実施が目的。業務日誌と作業写真の提出が成果品。

質問 海中公園センターがそんなお粗末な報告をするのか？職員は毎日立ち会っているのか？

答弁 (産業課長) 作業員に任せている。

質問 以前請け負っていた運動団体関連のメンバーがこれまでと同じように作業をしている。しかも傷害保険を運動団体の支部長の名前でかけている。これって丸投げではないか？

答弁 (副町長) 海中公園がやっていると判断している。

答弁 (町長) もうちょっとちゃんとした資料提出ができるようにして理解を求めている。

質問 予防接種について ワクチンによる副作用

の問題がある。ウイルスの活性化を抑えるためにホルマリンや水銀などの有害物質が添加されている。

添加物は予防接種を勧める側からの積極的な情報開示は無い。乳児は有害物質が微量でも心配。住民に知識を持つてもらわなければならない。

答弁 (福祉課長) 成分表などを見せて説明し、保護者の判断のもとですめる。

教育旅行誘致

質問 実績はどのように推移しているのか。

答弁 (産業課長) 25年度は20校2633人、今年度は12校1873人と大きく減っている。

質問 新たな学校の開拓が必要だ。町長のトップセールスの約束はどうだったか？

答弁 (町長) 時間調整がつかず行けていない。ここまで減ってきているのは分析が必要。

マイナンパー制度

質問 各世帯にマイナンパー

を知らせる「通知カード」が郵送されてきた。リスクを住民に正しく説明する責任がある。

内閣府、国税庁、厚労省など関係各庁は「カード取得は強制ではなく、取得しないことで罰則や不利益はない」「番号がなくても書類は受理する」「番号の記載がないことで従業員・事業者が罰則や不利益はない」などと説明している。住民が知ったがっているのはこの部分だ。

答弁 (住民課長) カード取得は任意であることは説明している。情報管理はそれぞれの団体がおので行う。



ジオパーク学習



鈴木 幸夫

まちづくり、地域活性化の取り組み

人口減少対策について

質問 地域活性化へ向けた取り組みとして、人口減少対策の取り組みの現状は。

答弁 (産業課長) 県では、支援制度(若者移住者暮らし奨励金)がある。町に制度はない。

質問 10月に、将来人口の目標、ビジョンを前提とした「総合戦略」が策定されたが、人口減少問題については、行政だけではなしに民間も交えた取り組みが必要ではないか。

答弁 (企画課長) 串本町まち・ひと・しごと総合戦略の策定メンバーは、町だけではなく産業界、金融機関、学校関係、労働団体からの委員が集まって策定した。

質問 「総合戦略」は、20

15年から5年の計画。毎年の進捗状況を把握する検証作業が必要ではないか。

答弁 (企画課長) 「総合戦略」の各項目に重要業績評価指標(KPI)を設定している。串本町の場合、KPI以外にも町独自の目標数値を掲げている。目標数値については毎年まち・ひと・しごと創生推進会議で検証していき

質問 「総合戦略」、先を見据えた町の有り方、実現化に向けて、役場内にプロジェクトチームを設置してはどうか。

答弁 (企画課長) 「推進会議」以外に「推進本部」を設置している。本部長が町長で副本部長が副町長、本部長が各課の課長となっている。「推進本部」が事業の検証をしていくことになる。

移住・定住支援について

質問 インターネットに移住や交流について田舎暮らしの魅力情報を発信している専用サイトがある。町として、定住支援の移住・交流の情報発信を含めた、取り組みの現状はどうか。

答弁 (産業課長) 串本町移住・交流推進協議会が関連イベントに参加しPR活動や、先輩移住者の体験談など説明している。これらはHPに掲載している。

質問 移住定住の受け入れについて、短期の滞在型住宅を設置したとのことであるが、施設面だけではなく、相談体制も合わせて整備の必要があるのではないか。

答弁 (産業課長) 施設の説明、町の案内も含めて産業課で担当します。

質問 移住・定住の一環として、地域おこし協力隊の現状は。

答弁 (企画課長) 都市部から地方部への人の流れを創出することを目的としている。

企業誘致について

質問 従来、紀南地方は企業誘致が難しいといわれてきた。しかし、高速道路の延伸による社会経済環境が大きく変わりつつある。町としての企業誘致活動(企業の業種を

絞る)を、検討してはどうか。

答弁 (産業課長) 県が主催する企業誘致説明会に参加している。他にも事例があり、町としても参考にして取り組みたい。

質問 企業誘致の条件整備として、優遇制度について見直しを検討してはどうか。

答弁 (税務課長) ある一定の条件を満たせば、課税免除の制度がある。他、半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置もある。また、「地方創生」の関係で新しい制度ができた。平成28年4月1日から施行の準備を進めている。

創業・支援制度について

質問 雇用対策として企業誘致、次のステップとして若者も含めて、意欲を持った人に対して、起業支援を考えてはどうか。

答弁 (産業課長) 産業競争力強化法において、認定を受けた起業家は、国の支援が受けられる。また起業時の軽減措置や優遇制度も活用ができる。現在本町も広域で申請中



梅野 光児

防犯の取り組みについて

質問 串本町ではどういう取り組みを行っているのか。

答弁（総務課長） 串本警察署管内防犯協議会での活動を中心とし、様々な啓発活動、訓練、援助活動等に取り組んでいる。

質問 もう少し踏み込んだ防犯への取り組みをお願いしたい。現在、日本で防犯カメラでの犯罪解決率が90%というぐらい防犯カメラが役に立っている。早急に設置を望むとともに現時点での設置状況を把握しておきたい。

答弁（総務課長） 防犯カメラの数は民間独自で設置されたものもあり、警察も多数という表現をしている。今後、警察や国土交通省と連携を密に対応していく。

質問 分庁舎・本庁舎、道の駅、なぎさの駅等にも設置を希望する。安心して観光客が訪れられる町づくりを望む。それ以上に子どもたちのスクールゾーンの危険なところや死角ができないような安全な通学路をつくってほしい。

答弁（教育次長） 横断歩道は串本警察へ連絡したが、順番があるためすぐにはできないとのこと。

答弁（建設課長） 歩道のカラー舗装はめり張りができて良いと思うので教育委員会と協議しながら通学路を優先にやっていききたい。

質問（町長） 防犯カメラについても地域で協議をしていきたい。

質問 串本町の防災についてお聞きしたい。町の避難所は現在どれくらい指定しているのか。

答弁（総務課長） 避難場所は高台を含め337か所、避難所は101か所。

質問 避難所101か所の中で福祉避難所と認定しているのは何か所か。

答弁（総務課長） 福祉避難所は3か所。あさかぜ園、上野山にしき園、潮岬あゆみ園。

質問 101か所の中で3か所というのは少ない。各地域につくるべき。高齢者や障害のある方々のために是非お願いしたい。

答弁（総務課長） 先ほどあげた3か所も町の施設ではない。介護の必要な高齢者、障がい者を対象にしている。3施設以外でも障がい者用トイレを持つ施設はあるので、そちらへの避難も一度検討する。

質問 是非検討を望む。次に防災広場（上野山）について。現在鎖を張って入れない状況になっている。住民アン

ケートで公園が欲しいという意見が多数だと聞いたが、防災広場として眠らせておくのではなく公園として開放できないか。

答弁（総務課長） 上野山防災広場については、臨時ヘリポート、災害時テント用地、耐震性貯水槽が倉庫以外にあります。通常は管理上、車両進入禁止のため入口にチェーンを張っている。平常時、地域の子どもの遊び場などとして活用することは安全面を含め防災グループと前向きに検討していきたいと考えている。



上野山防災広場



長 脊 守

町民グラウンドの整備について

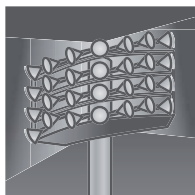
質問 進入口付近からグラウンド以外の立木や雑草の整備予定について尋ねる。

答弁（教育次長） 進入口付近の土地については、町有地ではない部分があり、状況を見まして所有者等とお話して環境整備に努めていきたい。

質問 町民グラウンド入り口付近の舗装と砂場の砂入れ替え又、夜間照明設置も含め気軽に楽しめるスポーツ施設の提供をどのように考えているのか尋ねる。

答弁（教育次長） 舗装については、砂利等を入れて対応できないか検討します。砂場については、一度確認し改修等必要であれば考えていきたい。夜間照明については、維持管理を考えると設置につ

ては難しく、利用人数が多く見込まれるのであれば、今後の検討課題としたい。



町の環境整備について

質問 国道等の美化活動の一環として、ポイ捨て禁止看板設置についてと無人駅の委託金額の増額と環境整備について尋ねる。

答弁（住民課長） 美化活動の一環として、広報やチラシ等による啓発、新宮保健所串本支所等と連携し、不法投棄監視パトロールを年間通し実施。今後、国道等の美化活動は、紀南国道事務所等と連携し取り組んでいきたい。無人駅の委託金額は現状のまま

で、芳香剤については、設置する方向で検討。

質問 学校や公共施設を活用

した防災教育と、生徒や地域との連携した避難訓練又、夜間の避難訓練や学校での宿泊体験の実施について尋ねる。

答弁（総務課長） 十一月七日四県共同津波避難訓練兼串本町津波避難訓練又、串本・古座川官公署等連絡協議会での津波災害対応訓練等も実施。夜間訓練については、田並地区以外は未実施。大島・須江・檜野地区と大島小・中学校や自衛隊との合同訓練を十月三十一日に実施。又、自主防組織や地域団体を対象として、防災出前講座を毎年実施。学校での宿泊体験は、教育課と協議が必要。

質問 災害時、避難所運営で中心になる地域の防災リーダーの養成（紀の国防災人づくり塾）について尋ねる。

答弁（総務課長） 串本町内では、十九名の方が防災士の資格習得。町職員は、現在十名取得。

質問 地域の活性について

答弁（教育次長） 十一月から二月まで多くの行事があり

大変難しい状況であるが、今後大会が運営できるか検討するため、マラソン大会の視察予算を計上。

質問 検証委員会をいつ立ち上げるのか又、視察場所について尋ねる。

答弁（町長） フルマラソンは、串本町では難しく思われる中、五キロ、十キロ等のマラソン大会から取り組んで、その中から種目を検討していく方法もあり、ボランティアの世話係等の方々がどの程度必要か、各大会関係者の方々に聞くために、実際にマラソンをされている先進地を各関係機関の方々に検証してもらったための予算を取っておりま





水口 崇

子育て教育

質問 計画でこども園8億円・串本小19億円、大変立派な施設建設予定だが、立派な建物より、教育内容を充実すべきである。

回答 「生きる力」不足の串本町（学力・体力が低く、不登校も多い）県内での企業の採用でも40%が能力不足で不採用・定着率が悪い（辛抱しない）「生きる力」が備わらず、社会に出てニート化する若者が多くなっている。

人間形成で一番大切な幼少期、小中学校の果たす役割は大変重要である。

小中学校は、生きるための準備の場。そして武器は教育。どこに行っても負けない子供を作る。益々難しい時代、串本町の現状を見ると大変不安である。

「生きる力」を付ける為、学童保育も全地域に必要。

危機管理 防災対策

質問 災害の現状をもっと研究すべき。防災の拠点であるサンゴ台 災害対策室・消防・病院であるが、災害時孤立化して機能が果たせるのか？ 道が無い為、職員の招集、怪我人・物資の輸送は出来ない。裏側からサンゴ台に通じる災害対策道路を造るべきである。

回答 （総務課長）物資は、ヘリコプター。職員は徒歩。災害用道路は検討していない。



孤立化する公共施設
津波によって道路はガレキに埋め尽くされ、孤立し救援隊が駆けつけられない。

くしもと町立病院
町民の命を守る

質問 高水準の医療提供のために、平成26年の6月議会に遠隔医療について質問。今スマホによる遠隔医療で、脳梗塞から多くの方が社会復帰している。専門医の手にMRI画像を送って診断してもらい治療する。遠隔医療は、特別な物ではなくたってきている。

和歌山県が、遠隔医療を始めた。県からの打診はあったが、議会にも委員会にも相談もなく、県の遠隔医療にくしもと病院は不参加。今後町民の命を守る事が出来るのか？

回答 （病院事務長）県立医大から医師派遣をしている病院が参加している。6月に県立医大から遠隔外来の説明に教授が来たが病院長と協議をして参加を保留している。

質問 患者救命のために、ハندیーはITで補い、病院の垣根を越えて専門医の経験を得て治療に活かすのが遠隔医療である。



を犠牲にして良いのか？ 学園の都合で私達の命がおろそかになり、助かる命も助からない。此が串本の宿命なのか？ 本町の救出劇をすべき、串本町は、どこの誰か解らない異国の方を賢明に救出した町である、映画で訴えたかったのは何か？ くしもと病院は、町民を救出するのが、最大の目的である。遠隔医療に参加すべき。

回答 （管理者）救命率が上がるのであれば、くしもと病院も此に参加していく。



橋爪 和雄

加工食品の
取り組みについて

質問 農産物の加工技術や販売方法について学ぶ、加工品開発研究会の立ち上げを提案したい。

回答 （産業課長）農林漁業者と加工者がお互いに商品開発や販売拡大等に取り組みべきだと思っている。

質問 商品の開発と商品化するためのセミナーの開催について。

回答 （副町長）自分たちの力で新しい品物を創造していくという考え方も必要だと思ふ。

空き家対策について

質問 空き家対策について。

回答 （住民課長）空き家対策庁内検討会をつくっている。六課の調査を終えてから空き家対策の計画の策定を行った協議する予定で。

質問 子育て支援について
町独自の支援施策事

業及び支援の見直しについて。

回答 （福祉課長）出産の人数とか特殊出生率という問題もあるが、動向を見ながら将来の検討課題とさせていたきたい。

国体・映画を生かしたまち
づくりについて

質問 町民一人ひとりのおもてなし、串本町のイメージづくりに。

回答 （企画課長）過去にないビジネスチャンス。このチャンスを最大限に生かす施策の企画を立案していく。ホテルほか観光事業者等、観光協会・商工会、その他関係団体と連絡調整を行いながら、関係団体とともに取り組みたい。

回答 （町長）今こそ我々は知恵を絞り、史実を後世に残すとともに、ビジネスにつなげなければならぬ。あらゆる機関の方々とチームを組んで動きたい。

質問 国体会場を生かしたスポーツ誘致の取り組みについて。

回答 （教育次長）東牟婁エリアスポーツ合宿誘致推進協議会につきましては、担当レ

質問 芝生の今後の管理について。

回答 （教育次長）Jリーグチームが来ていただける最低のレベルで管理していきたい。

防災対策について

質問 地震対策の進捗状況と補助対策について。

回答 （総務課長）出前講座を始めてから回数は、平成26年度まで149回開催している。延べ人数は5,284人の方が参加している。避難路や避難場所につきましては、113路線を整備しています。

耐震ベッドや耐震シールドの設置工事の制度もある。ブロック塀等の撤去補助制度もあり、平成26年度から補助率を10分の9に上げました。

質問 被災後の混乱の中で復興計画を進めるのは難しいので、被災前に串本町震災復興都市計画指針の策定が進められているか。

回答 （総務課長）串本町震災復興都市計画の策定について、進めています。ただ、串本町地域防災計画の中に災害に強いまちづくり防災計画がある。その中で公共施設の



鳥取県日南町役場（木造2階建て）

高台移転と、高速道路を利用した避難場所の整備等について記載されています。

庁舎建設について

質問 串本町の庁舎の耐震について。木造庁舎の建設について、メリット・デメリットについて検討します。

災害に強い安心安全なまちづくりを推進するための防災基盤の整備事業があります。使えないか財政サイドで調べ



川勝 昇

町政課題の取り組み状況

【質問】 橋杭公園拡大整備。

【答弁】（産業課長）指摘されていた旧橋杭漁協建物はH27年度までの補助期限がありH28年度中に予算化整備事業予定。

【質問】（町長）道の駅の駐車場拡大等取組みは、H28年度予算計上し進捗したい。

【答弁】（建設課長）県串本建設部と打合せボーリング調査予定結果、関係者と協議対策を考えた。町道拡幅は寄付を受けた後、石積箇所36M幅4Mに改良可能である。

【質問】 消防屯所不安全事故改善対策と町道学校通線の拡幅整備。

策の取り組み状況。

【質問】（消防長）津波浸水域に屯所6ヶ所、器具置場11ヶ所存在。串本第3部旧錦富小へ、出雲第5部権現へ、有田分団は串本西小もありJR有田駅舎へ防災グループと補助金協議中。古座消防署移築検討中。田原、西向、古座地区は適当な場所がみつからない。

【質問】（町長）地域や消防団の声を聞き計画を作って行きたい。

【質問】 稲村公園の推進。稲村農道整備、町有点在農地売却等取組み中、中心課題であるグラウンドゴルフ場等公園創造計画についても協議を進められたい。

【質問】（町長）十分地元と協議し広く意見を聞きながら今後進めて行きたい。

資源を活かした町づくり

【質問】 大島フラワーロードと通夜島整備。映画「海難18

90」を記念して、フラワーロード創造を提案したい。

【質問】（町長）エルトゥール通りは県のご尽力できれいになりました。その辺にトルコ色を出してオリブを植えてはと思っています。提案の内容も併せ整備を考えていきたい。通夜島に先日環境省の方と渡りました。貴重な植物や立派な椎木が生息し公園対応について柔軟に配慮されるので今後取組みを考えたい。

【質問】（産業課長）8月7日環境省から通夜島園地の計画変更の承認を受け、桟橋の整備等補助メニューを検討相談をしていく考えです。

山林資源の活用

【質問】 去年、岡山県真庭市の森林バイオマス事業の研修に引き続き、福井県の木の粉末と化学剤を混合して強度な板（フクウッド）をつくる事業の研修に議員3名で取組みました。

福井県坂井郡6ヶ町村の森林組合が合併創設した従業員37名の会社で女性も重機を駆使し数名活動していました。

木の国和歌山、森林税も創設、森林関係事業開発こそ命題です。大いに提言推進に取組みされたい。

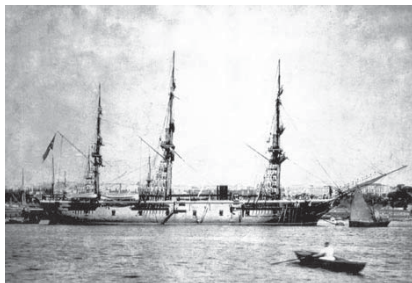
【質問】（産業課長）木の粉末で強じんな板の製造技術等不理解でした。山林資源の活用について提言努力していく。

磯釣公園の創造

【質問】 串本町全域が磯釣公園という条件に恵まれている。年間約10万人の入込ですが、かつて夜行列車を利用した釣客は約20万人で盛況だった。

漁港突堤、海岸護岸等安全対策に配慮取組みすれば来客は飛躍する。積極的な対応を切望する。

【質問】（産業課長）産業課の教育旅行担当者等、先進地視察をしております。他所にも学び取組みたい。



沼谷 美次

映画「海難1890」

【質問】 映画が公開され町長にとっては感慨深いものがあると思います。苦勞して育て上げ商品化された訳ですが、これを如何にしていくのか。

【答弁】（町長）史実に基づい

た映画でありますから、売りだし方によっては大輪の花を咲かせるものであると思います。行政だけでなく議会や町民の方々、各種団体の皆様がこれを契機として一丸となって町をアピールし、経済につなげていきたいと思っています。

【質問】 映画公開の日に映画館の前で職員が、串本のアピールをしていたが、この頑張っている姿を見て町長はどう思うか。

【答弁】（町長）職員が自分たちで自主的に串本町のパンフレットを配る姿を見て、本当にうれしく感じました。

プロジェクトチーム設置について

【質問】 プロジェクトチームの取組みは。

【答弁】（町長）町が得た情報をすべての機関に発信し、次につながる企画を考えていただいたりして、お互いの協力体制がつけられ、いいものができていくと思います。

エルトゥール通りについて

【質問】 エルトゥール通りがちょっと殺風景な気がします。通りに幟やトルコ関係のモニュメント等の設置は。

【答弁】（町長）大事なことだと思います。古くなった構造物などがあるので撤去して、それにあわせて土産物を販売するブースをつくり、トルコにちなんだもの、串本の名産品など販売してもらえような企画をしています。環境省との関係がありますので、今申請を出しているところです。

小・中学生の映画鑑賞について

【質問】 先行上映を鑑賞された小・中学生の感想について、わかっていたら答弁を。

【答弁】（教育長）ほとんどの生徒はよかったと。自分たちの祖先がこういうことをしていたことが非常にうれしいうし、自分もこれを今後に生か

していきたいと文集もつくり、子どもたちが串本町に誇りをもつて、串本町を好きになる教育をしつかりやっていきたいと思っています。

スクールカウンセラー、相談員について

【質問】 スクールカウンセラー、相談員の現状について。

【答弁】（教育長）スクールカウンセラーは串本町には1名の方には串本・西向・潮岬各中学校を回っていただいています。本来は専属で配置されていれば一番いいんですけど今のところは行われていません。

【質問】 モンスターペアレントといわれる方の対応について相談員を配置できるよう努力していただきたい。

【答弁】（教育長）スクールソーシャルワーカーという形を県でも取り入れようとされている。



芝山 定史

有効な町施設の使用方法について

質問 きのくに国体への串本町決算はどのようになっていくのか？

回答 （教育次長） 共同競技等もあり、現在決算作業中である。三月議会にて報告したいと思っている。

質問 サン・ナンタンランド施設の今後の活用方針は？

回答 （町長） 昨年と比較してテニスコートの使用料収益が七倍になったり、野球場の予約が詰まっていたり、離れていたチームが復活したりと、費用対効果がある。今後

は維持費を考慮しながら進めたい。

質問 スポーツ誘致あるいは大会開催についての考えは？

回答 （教育次長） 最近チームになっているラグビーを含め串本開催の三競技の関係者等とつながりが出来たので、それを活かし積極的に取り組みたい。

質問 出雲小学校の現在使用状況は？

回答 （教育次長） 児童数は二十四名、四学級です。

回答 （福祉課長） 学童保育として、計二十九名（内潮岬から十六名を受け入れ）で使っています。

質問 統合問題が浮上している中ではあるが、この建物を次に何に使用するか考えているか？もし統合に決まったらその建物を、地元区あるいは

串本町の為に有効活用するスピードを持って取り組む事も必要では？

回答 （教育次長） 統合が決定していない廃校が決まっていないうち、協議検討は出来ない。

串本町のPR活動について

質問 串本をPRする担当職員をおいてはどうか？

回答 （総務課長） 国の地域おこし協力隊という制度を活用してPR専門職員を募集して対応していく事も検討しているところである。

町職員の勤務に対する意識の改革

質問 町民の色々な要望に対して何とか対処しようという意識が必要では？

回答 （総務課長） その意識は必要です。対応する問題の諸事情にもよりますが、個人

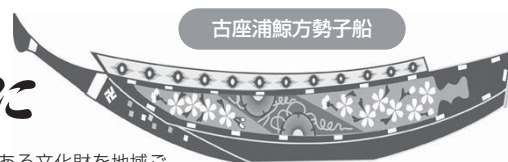
で対応するのではなく担当課あるいは当局全体で対応検討していくようにしたい。

質問 相手がわからなくても説明責任を果たしたではなく、相手が理解できる説明研究、説明態度が必要では？

回答 （総務課長） そのとおりであると思う。町ではマナーチェック（自己分析）を毎月行っているの、結果を再度見直し取り組みたい。



捕鯨文化を日本遺産に



古座浦鯨方勢子船

和歌山県は、捕鯨文化について、特色ある文化財を地域ごとに選ぶ「日本遺産」への認定を目指しています。捕鯨と言えば太地町が有名ですが、我が串本町も江戸時代には古座に紀州藩の鯨方が置かれ、明治から昭和にかけて大島と串本は近代捕鯨で町財政を支えました。

古座の御船祭りは鯨船の様式を継承しているといわれ、今回の「日本遺産」登録に向けての重要な要素の一つです。この機会にわが町の捕鯨の歴史を振り返ってみましょう。

西 暦	元 号	古 式 捕 鯨
1606年	慶長11年	太地浦にて和田頼元捕鯨事業を始める
1619年	元和5年	徳川頼宣紀州藩主となる。古座に巡遊・黒島を九龍島と改める 有田浦で土屋源太捕鯨事業を始める（伝承）
1626年	寛永3年	古座浦の三郎太郎、長崎県有川村で江口甚左衛門と鯨組を組織する
1645年	正保2年	有田浦八幡神社の寄進札に26人の捕鯨関係者の名が記載される
1660年	満治3年	徳川頼宣古座浦に捕鯨事業を興す
1664年	寛文4年	八丁櫓で漆塗りの鯨舟を作る
1675年	延宝3年	太地浦の和田寛右衛門が鯨の網取り法を考案
1687年	貞享4年	西向浦小山氏の城山下に古座浦捕鯨舟の納屋を増築
1784年	天明4年	12月 古座浦鯨方大災難あり 漁船漁夫多く流亡する
1816年	文化13年	古座浦捕鯨事業を中止
1825年	文政8年	喜多野又兵衛の尽力で古座浦捕鯨再興
1831年	天保2年	古座鯨方大納屋建つ
1872年	明治5年	新生和歌山県は古座鯨方の廃止を決定
1873年	明治6年	湯川半左衛門他11人が鯨方の経営を請け負う
1877年	明治10年	袋大納屋を基地に操業 座頭鯨1本を得漁し、以降実質操業を終了
1890年	明治23年頃	古座浦捕鯨事業の廃止
近 代 捕 鯨		
1906年	明治39年	11月 東洋漁業株式会社（下関）が大島村に出張所を設け3隻の船を配備 春日組（大阪）が宮川尻に事業場を設ける。
1907年	明治40年	3月 春日組が内外水産を設立、袋港に事業場を置き、シロナガスクジラを捕鯨したのを手始めに豊漁をみる。太平洋漁業株式会社（東京）も袋港口蛸子の前に事業場を置き、事業船2隻を回航。 10月 地元有力者による捕鯨会社紀伊水産の事業所が笠島に設置される。同時期に大日本捕鯨会社（東京）も尾の浦に事業所設置。
1908年	明治41年	4月 太平洋漁業が事業所を袋寺ノ元に移転
1909年	明治42年	5月 大日本捕鯨会社が東洋漁業株式会社に合併吸収される。 10月13日 大島区と丸三製材株式会社（高知）、大島北地3番地（えびすさま）に解体処理場設置の契約を締結
1910年	明治43年	3月13日 太平洋漁業が撤退した跡地に大日本水産株式会社が串本町と事業所設置の契約締結 8月12日 大島区と藤村捕鯨 大島北地3番地に解体処理場設置の契約を締結 12月13日 大島区と土佐捕鯨株式会社（高知）北地2番地に解体処理場の契約を締結
1912年	明治45年	6月10日 大島区と長門捕鯨株式会（山口県仙崎）解体処理場貸与の契約締結
1914年	大正3年	12月9日 大島区と大日本水産株式会社 解体処理場貸与の契約を締結
1916年	大正5年	内外水産・紀伊水産共に東洋捕鯨に合併吸収される。
1937年	昭和12年	東洋捕鯨が日本水産株式会社となる。
1949年	昭和24年	10月10日 大洋漁業株式会社と大島区協議会の間で、漁業用地800坪を貸与して解体処理場を建設する契約を締結
1959年	昭和34年	この年の年間捕獲数278頭をピークに急激に減少していく
1970年	昭和45年	日本水産と大洋漁業が事業所を廃止して近代捕鯨は終焉

【参加者】鈴木委員長、佐藤副委員長、濱田委員、結城委員、橋爪委員
岡岡企画課副課長、浅利産業課副課長、岡田議会事務局書記

去る、11月9日（月）から11日（水）の日程で、県外行政視察を行いました。視察先は過疎高齢化が進行する中で、過疎がもたらす様々な課題に取り組んでいる鳥取県日南町、琴浦町を訪れた。

日南町の概要

中国山地のほぼ中央、広島県、岡山県、島根県の3県に隣接し、面積341km²、人口5,110人、面積89.3%が森林であり、農林業が主な産業という典型的な中山間地域である。高齢化率が46.5%。

【研修内容】

○廃屋・空き家対策について

移住・定住や町内の若者がいつまでも暮らしていけるよ
うにという観点から、条例を制定し、奨励金や祝い金、
移住・定住のための補助金等定めている。

○産官学連携について

鳥取大学と連携して地域の活性化の実現と県民の暮らしを豊かにすることを目的とした事業を展開している。大学と連携事業を行うことのメリットとして、「大学が持つ知的財産権の活用」「連携による交流事業の増加」「新たな行政展開」が期待できる。

○その他

冒頭の挨拶の際の、「自治体病院である日南病院の31年間黒字経営をつづけてきた」とのことについて説明を受ける。



琴浦町の概要

鳥取県の中央に位置する日本海に面した町。鳥取県東伯部の東伯町と赤碕町が2004年9月1日に合併して誕生した。なお町名は、かつて海岸一帯が「琴ノ浦」と呼ばれていたことに由来する。人口18,255人、高齢化率33.7%。

【研修内容】

○漁業後継者対策及び新規就業者の育成

漁業担い手研修として、地元漁協、県に相談・協議している。独立、創業を目指し、漁業者によるマンツーマン指導による研修を実施する経費の支援。

○農業担い手対策事業

農業委員会として、農業担い手結婚対策事業の実施。

○その他

- ①鳥取大学連携事業
- ②地域課題・社会課題解決に向けて、町と民間団体の取り組み
- ③琴浦協働事業・物産館ことらの取り組みについて説明を受ける。



研修に最後までお付き合いいただいた琴浦町長（右から4人目）

視察の総括として

過疎化の問題は、どこの自治体も抱える問題である。創造力と責任感を持って過疎問題に取り組むべきである。議会事務局とともに、十分な下調べを行い、訪問したが、目で見て、肌で感じることの大事さを実感した。

研修先は、両町共に歓迎を受けた。とくに日南町の研修では、全国の1700余りの自治体に行政視察受け入れのパンフレットが送付されているだけあっておもてなしが行き届いていた。

因みに平成26年度の視察団体数は49団体528人。地域にもたらす経済波及効果もあるとのこと。そして、説明対応を通じて、職員自身も理解が深まり、スキルアップに繋がっているなどの相乗効果が生まれているとのことであった。

また、説明員の「日南町は、創造的過疎をテーマにまちづくりに取り組んでいる。成果も大事だが今、取り組んでいることを重視している。」という言葉が印象的であり、研修は非常に充実した有意義なものであった。

【参加者】仲江委員長、長脊副委員長、沼谷委員、梅野委員、寺町議長、平井教育次長、河合福祉課主任、吉村議会事務局長（川勝委員・漆畑委員・水口委員は欠席）

滋賀県多賀町

彦根の隣町が多賀町は人口7,000人余りなのですが、博物館と図書館と歴史民俗資料館があり、建物だけではなく日常の企画展等の行事もしっかりこなしています。教育委員会には課が3課あり、保育所を含めた子育て支援の活動も教育委員会が行っています。串本町に足りない物を学ぶことができるのではと、視察先を選びました。

約束の10時には町長と副議長・総務委員長等が玄関先で出迎えてくれました。議会事務局長は女性で、教育次長他担当職員が同席して、午前中は視察団と同じくらいの人数で子育て支援を中心に対応してくれました。午後からは博物館に場所を移して、博物館長と図書館長が説明と案内をしてくれました。

子育て支援を教育委員会に一本化したのは現町長の考えで、保育所の統合では議会に否決された事もありますが、子育て施策は住民におおむね好評で、子育てがしやすいからと移住する若い住民も増えています。

博物館は有資格者の嘱託館長と学芸員が2名と臨時職員1名の4名体制。図書館は有資格者の嘱託館長と司書が3名と一般職員1名。司書資格を持つ臨時職員2名でこちらは7名の体制。この人口規模でこれだけの配置を行えるのは、町民の理解を得られているからであり、それはまた文化水準の反映でもあります。



三重県鳥羽市

串本町は古式捕鯨も近代捕鯨もかつては町の基幹産業でしたが、捕鯨に関する道具や史料がほとんど残されていません。わが町発祥の「ケンケン」の名はすさみにとられてしまいました。江戸時代の番付上位に位置された鯨節製造も町内に一軒を残すのみとなっています。マグロ漁も大間にお株を奪われてしまったし、女性の海女は昭和初期には700人余りいたのに現在では5人ほどを残すのみとなっています。

三重県鳥羽市には公費補助を受けずに作られた公益財団法人「海の博物館」があります。串本の忘れられつつある漁民の漁具や歴史を保存し後世に伝えていくうえで、まさにお手本となる施設です。

視察は鳥羽市職員による鳥羽の漁業の現状報告と海の博物館の石原館長からの海女文化の保存伝承を中心とした報告を受け、その後石原館長に普段は非公開となっている国指定重要有形民俗文化財を保存している倉庫を含め、館内を案内してもらいました。

博物館の実物資料の所蔵点数は約60,000点（件）。民俗資料が大半を占めており、うち6,879点の国指定重要有形民俗文化財を含んでいます。重文と言えば宝物をイメージしますが、身近な道具類が歴史的価値を評価されて指定されているものも多く、わが町で始まっている歴史民俗史料の収集品の中にも重文指定に値する物もある事に気づかされ、一層の収集保存活動が重要だと思いました。



議会の動き

《本会議》

- ・12月 9日～18日 第4回定例会

《臨時会》

- ・10月28日 第3回臨時会

《委員会》

【議会運営委員会】

- ・12月 2日 第4回定例会の運営について

【常任委員会】

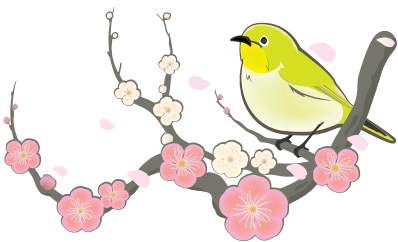
- ・10月13日 総務産業建設常任委員会
- ・12月 4日 文教厚生常任委員会
- ・12月 9日 文教厚生常任委員会
- ・12月15日 文教厚生常任委員会

【特別委員会】

- ・10月15日～21日 決算審査特別委員会
- ・10月22日 議会広報特別委員会
- ・12月18日 議会広報特別委員会

《議員研修》

- ・10月23日 東牟婁郡町村議会議員研修会
(那智勝浦町)
- ・11月 9日～11日 総務産業建設常任委員会
(鳥取県日南町・琴浦町)
- ・11月16日～18日 文教厚生常任委員会
(滋賀県多賀町・三重県鳥羽市)



議長 公務日誌（主なもの） (H27年10月～H27年12月)

- ・10月 1日 コミュニティバス出発式（JR 串本駅）
- ・10月 6日 紀の国わかやま国体総閉会式（紀三井寺公園陸上競技場）
- ・10月 8日 東牟婁郡町村議会議長会臨時会（那智勝浦町）
- ・10月13日 国道371号（紀南地方）改良促進委員会監査（議長室）
- ・10月29日 新宮周辺広域市町村圏事務組合監査（新宮市）
- ・11月 1日 第11回串本町民大運動会（サンナンタン）
- ・11月 4日 近畿自動車道紀勢線すさみ・那智勝浦間建設促進協議会要望（東京都）
- ・11月 6日 和歌山県町村会100周年記念式典・シンポジウム（有田川町）
- ・11月 9日 新宮周辺広域市町村圏事務組合議会（新宮市）
- ・11月 9日 新宮東牟婁老人福祉施設事務組合議会（新宮市）
- ・11月11日 町村議会議長会全国大会（東京）
- ・11月14日 古座地区戦没者慰霊祭（善照寺）
- ・11月15日 ふれあいいきいきまつり（文化センター）
- ・11月26日 健康づくり推進協議会（地域保健福祉センター）
- ・12月 1日 国道371号（紀南地方）改良促進委員会総会、要望活動（和歌山市）
- ・12月 6日 本州最南端グランドゴルフ交歓大会（サンナンタン）
- ・12月 6日 第39回串本警察署管内防犯少年剣道大会（串本中学校体育館）
- ・12月 8日 サン・ナンタン串本ゲートボール大会（サンナンタン）
- ・12月12日 すさみ串本道路事業着手式（文化センター）
- ・12月24日 新宮周辺広域市町村圏事務組合監査（新宮市）



読みやすい紙面を目指して、一般質問の書式統一を進めています。が、何を言いたかったかより、何を言ったか、どんな答弁が返ったかを重視して、今号では広報委員会において各議員が書いた原稿を大胆に校正しました。当局提案の議案に関しては討論の要点を掲載しています。皆さんのご意見をお寄せください。

編集

後記